

「広島神楽」定期公演へようこそ！

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(1) 座席での飲食は出来ません。ロビーをご利用下さい。

(2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など他のお客様のご迷惑になる行為はご遠慮下さい。

(3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。着席での鑑賞をお願いします。

(4)撮影について

→写真撮影は右図の撮影エリアで行って下さい。

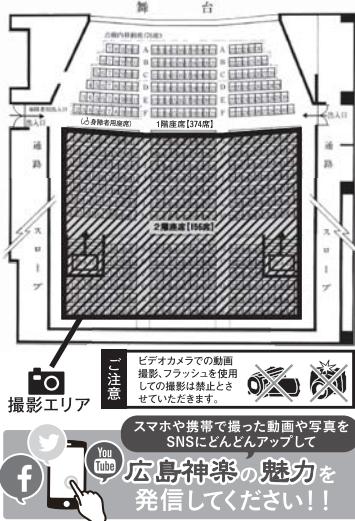
※ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止します。

(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



おおもりかぐらだん

大森神楽団プロフィール～広島市佐伯区～

大森神楽団は、広島の奥座敷・湯来温泉でお馴染みの広島市佐伯区湯来町、大森八幡神社を氏神社として、現在まで百数十年の歴史を持つ神楽団です。もともと佐伯区一帯に古くから伝わる「十二神祇」という神楽を継承してまいりましたが、団員の高齢化、後継者の減少に対応するため、平成六年からは矢上系山県舞(六調子旧舞)、平成七年からは阿須那系高田舞(八調子新舞)を導入いたしました。これをきっかけに団員数も増え、次第に活気溢れる神楽団へと変わっていきました。今では後援会やファンの方々に支えられ、多数のイベント・大会に出演させて頂いております。これからも伝統の火を絶やすことなく、感動してもらえる『大森神楽』を確立できるよう、団員一同日々精進してまいりたいと思います。まだまだ未熟な神楽団ですので、皆様の温かいご指導とご支援をいただきますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

第一幕『戻橋』(もどりばし)

平安時代中期、京の都・一条戻橋辺りに夜な夜な鬼が現れては庶民を苦しめていました。

都の守・源頼光(みなもとのらいこう)は四天王の一人・渡辺綱(わたなべのつな)に陰陽師・安部清明(あべのせいめい)に戻橋辺りの様子を聞いて鬼退治をするように命じます。綱は清明から『式神(しきがみ)』という清明の手足として自由に操れる陰陽師の鬼人を受け取り戻橋へと向かい、一人の姫と出会います。綱は五条大宮まで連れて行って欲しいと頼まれ、道中ふと川面を見ると、川面には妖氣漂う恐ろしい鬼女の顔が映し出されました。

正体を見破られた姫は鬼へと姿を変え、綱にい襲いかかりますが、綱は清明に渡された式神と共に鬼と大激闘の末、鬼の左の腕を切り取ります。腕を切り落とされた鬼はやむなく大江山へと逃げ帰っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 本 西 満 明	源 頼 光 … 井 上 一	茨 木 童 子 … 児 玉 崇 志
	小太鼓 … 菊 川 勇 樹	渡 部 綱 … 佐 上 友 貴	化 身 … 吉 政 友 也
	手打鉦 … 森 泉 侑 子	安 倍 晴 明 … 加 藤 畏	式 神 … 田 川 夢 翔
	笛 … 川 本 日 菜 子	堀 井 貞 光 … 松 本 智 幸	傘 売 り … 赤 井 優 太 郎

第二幕『土蜘蛛』(つちぐも)

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を搅乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。

時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。

しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 加 藤 畏	源 頼 光 … 菊 川 勇 樹	胡蝶(化生) … 本 西 満 明
	小太鼓 … 赤 井 優 太 郎	渡 部 綱 … 吉 政 友 也	鬼 … 田 川 夢 翔
	手打鉦 … 川 本 日 菜 子	ト 部 季 武 … 児 玉 崇 志	胡 蝶 … 佐 上 友 貴
	笛 … 佐 上 季 恵	堀 井 貞 光 … 松 本 智 幸	

10月3日のタイムスケジュール

出演：大森神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『戻橋』

(およそ40分)

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『土蜘蛛』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

*記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。